

内城 廣高 設樂 東藏
力 士 千鳥川盛右エ門 二所關軍右エ門
盛岡市長 毎日新聞社長 盛岡市長

岩手縣會議員 小泉 多三郎 上田 常隆 中村 謙藏
軍人 盛岡市會議員長

(議長)田代 三郎 板垣 征四郎 宮 善次郎
小泉 久仁雄

(七) 達磨座敷



狩野探幽筆達磨像大軸と達磨座敷名の由來

享保十五年(一七三〇)、城下の禪刹報恩寺の一華和尚と當山法華寺十一世日瑠上人が教學上の論議を闘わし、日瑠上人が凱歌を擧げた。

そのため一華和尚は狩野探幽の筆による達磨像の大軸と、これの扶持料として、市内三ツ割太藏坂の畑地を寄進した。

このときから法華寺の座敷は誰いうとなく達磨座敷と呼ばれるようになった。また一華和尚はますます精進を重ねられいまにみる報恩寺の五百羅漢を作られたという。

またこの座敷は南部彌六郎さまが來寺されたときの接待部屋でもあったことから、彌六郎座敷とも別稱されている。